

ソフトウェア開発者マニュアル

SBPLエミュレーションガイド

TD-4215D/4415D/4425DN/4425DNF/4525DN/4455DNWB/4555DNWB/4555DNWBF
2320D/2320DF/2320DSA/2350D/2350DSA/2350DF/2350DFSA
RJ-4235B/4255WB
RJ-3235B/3255WB

Version 5.00

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。ブラザーは、ブラザー工業株式会社の登録商標です。© 2026 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、ブラザー工業はライセンスに基づき使用しています。

商標SBPLはサトーホールディングス(株)の登録商標です。

BarStar Pro Encode Library (PDF417, Micro PDF417, DataMatrix, MaxiCode, AztecCode, GS1 Composite, GS1 Databar, Code93, MSI/Plessey, POSTNET, Intelligent Mail Barcode)

Copyright(C) 2007 AINIX Corporation. All rights reserved.

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。QRコード生成プログラム Copyright © 2008 DENSO WAVE INCORPORATED

Portions of this software are copyright © 2014 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

本書に記載されているその他のソフトウェアや製品の名称は、開発した各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ - 必ずお読みください

ご注意

本資料は、お客様が直接プリンター(対応機種については、「[付録 A:対応機種一覧表](#)」をご参照ください)を制御される場合に必要な情報を提供するものです。

お客様が以下の内容にご同意いただいた場合のみ、本資料のご利用が可能です。

もしご同意いただけない場合は、お客様は本資料をご利用いただけません。

ご利用条件

お客様は、お客様ご自身でプリンターをご利用いただくため(以下「本目的」といいます)に必要な範囲においてのみ、本資料を使用し、複製することができるものとします。なお、お客様は次のことを行ってはならないものとします。

- (i.) 本目的以外の目的で本資料を複製すること
- (ii.) 本資料を改変し、翻案・翻訳し、または第三者に再頒布すること
- (iii.) 本資料を第三者に貸与・提供すること
- (iv.) 本資料に含まれるブラザーの権利に関する表示を削除・改変すること

無保証

- a. 対応機種および本資料のバージョンアップや修正等はブラザーが任意で行うものとします。
- b. ブラザーは本資料に関し、明示または黙示であるかを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合することを含め、その他いかなる保証も行いません。
- c. ブラザーは本資料および本資料に基づきお客様が作成したプログラムに起因して発生した直接的または間接的損害について、お客様に対し、いかなる責任も負わないものとします。

お問い合わせ先

本資料や、プリンターへのご要望ブラザー開発者専用情報のサポートメールへお尋ねください。

<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html?navi=offall>

ただし、対応機種および本資料のバージョンアップや修正等はブラザーが任意で行うものとし、お客様からの本資料の内容に関するお問い合わせまたはご要望に対しての対応をお約束するものではありません。

目次

1. はじめに	4
2. 事前設定	5
2.1 コマンドモード設定	5
2.2 用紙設定	8
2.3 通信設定	12
2.4 ステータス応答設定	15
3. コマンド対応一覧	17
3.1 制御	17
3.2 位置指定・修飾	18
3.3 文字・フォント	19
3.4 バーコード	21
3.5 2次元コード	22
3.6 グラフィック	22
3.7 システム	23
付録A: 対応機種一覧表	25
付録B: 仕様	26
付録C: ENQ(ステータス要求)	30

1. はじめに

プリンターはSBPLコマンドを解釈するSBPLエミュレーション機能を搭載しています。本書は、SBPLエミュレーションを用いて印刷を行う際に必要な事前設定や注意すべき点について記載したものです。

本書は、お客様の開発環境におけるプログラミングに関して知識がある方への説明書となっております。

本書の画面に登場する機種名は、お使いのプリンター名称に置き換えてお読みください。

2. 事前設定

SBPLエミュレーションを使用するためには、事前にプリンターの設定を行う必要があります。ここでは、必要となる設定や注意すべきポイントについて説明します。

2.1 コマンドモード設定

プリンターはSBPLエミュレーションの他にも、ラスター、P-touch Template など様々な種類のコマンドを解釈することができます。プリンターが受信したデータをどの種類のコマンドとして解釈するかは、コマンドモード設定により切り替えます。そのため、SBPLコマンド送信前に下記手順により事前にコマンドモードをSBPLエミュレーションに設定する必要があります。

プリンターのコマンドモードの工場出荷時デフォルト設定は P-touch Template です。この状態では受信したデータをSBPLコマンドとして解析することはできません。SBPLエミュレーションを使用される際は事前にコマンドモードを SBPLエミュレーションに設定してください。コマンドモードの設定方法は複数ありますので、お客様のご使用形態に合わせてお選びください。

2.1.1 本体設定ツールによるコマンドモードの設定（静的設定）

BRConfiguration Tool (本体設定) を用いてコマンドモードの設定が可能です。ここでの設定は初期設定として本体内部の不揮発性メモリに記憶され、電源ON時に自動的に読み込まれます。

The screenshot shows the BRConfiguration Tool interface for a Brother TD-4555DNWB printer. The 'Basic Settings' tab is selected. In the 'Print Settings' section, the 'Command System' dropdown menu is highlighted with a red box, and a red arrow points to it with the text 'SBPL Emulationを選択する'. The dropdown menu shows 'SBPL emulation' as the selected option. Other settings include 'Connection', 'Location Information', 'Power Settings', and 'Print Settings'.

基本設定	拡張設定	印字位置 / センサー	画面設定
基本設定			
連絡先			
ロケーション情報			
電源設定			
自動電源オン	オフ		
オートスリープ	3 分		
オートパワーオフ	オフ		
印刷設定			
コマンド系	SBPL emulation		
印刷の向き	回転しない		
印刷速度			
印刷の濃さ	0		
カバークローズ時の用紙先端合わせ	用紙設定表示		
オートカット	オートカット		
オートカット・枚数指定	1		

リセット

適用 保存 キャンセル

2.1.2 コマンドによるモード設定（静的設定）

ホスト端末から直接コマンドを送信することにより設定を変更することも可能です。下記のコマンドによりコマンドモード設定を変更できます。この場合も初期設定を変更しますので、前述の本体設定ツールの場合と同様、電源ON時の初期コマンドモードをSBPLエミュレーションにすることができます。

ESC i X i 2 コマンドモード設定 (静的設定)

```
ASCII: ESC i X i 2 01h 00h [mode]
16進: 1B 69 58 69 32 01 00 [mode]
```

[mode] : 1byte

値	モード
00h	ESC/Pモード
01h	ラスターモード
03h	P-touch Templateモード(デフォルト) / ZPL II emulationモード
06h	SBPLエミュレーションモード
07h	EPL emulationモード
08h	DPL emulationモード

・設定可能値以外の値を設定しようとすると、無効になります

2.1.3 コマンドによるモード設定（動的設定）

本体のコマンドモードを一時的にSBPLエミュレーションモードにすることも可能です。コマンドモード設定後に送信したコマンドはSBPLコマンドとして解釈されます。

ESC i a コマンドモード設定 (動的設定)

```
ASCII: ESC i a [mode]
16進: 1B 69 61 [mode]
```

[mode] : 1byte

値	モード
00h または 30h	ESC/Pモード
01h または 31h	ラスターモード
03h または 33h	P-touch Templateモード(デフォルト)
06h または 36h	SBPLエミュレーションモード

SBPLエミュレーションモードに設定するには、(16進) 1B 69 61 06 または (16進) 1B 69 61 36 を送信します。

2.1.4 コマンドモードについての注意点

ブラザーの各種アプリケーション、ツール等から印刷や設定を行うことにより、コマンドモードが動的に変更されることがありますのでご注意ください。このような状態から再度SBPLコマンドを実行したい場合は、前述の[コマンドによるモード設定\(動的設定\)](#)を送信いただくか、または、[本体設定ツールによるコマンドモードの設定\(静的設定\)](#)／[コマンドによるモード設定\(静的設定\)](#)でSBPLエミュレーションに設定した状態で、電源を入れなおしてください。

2.2 用紙設定

2.2.1 用紙設定について

プリンターは本体内部に用紙の設定を持っており、この設定情報に基づいて印刷動作（位置の検出）を行います。そのため、印刷する際は事前に用紙のサイズや種類を設定しておく必要があります。用紙サイズ設定ツールを用いて、設定を変更、およびカスタム用紙の登録を行うことが可能です。用紙設定は本体の不揮発性メモリに保存されるため、電源を切っても保持されます。

The screenshot shows the 'Paper Size Setting' window in the Brother Configuration Tool. On the left, there is a sidebar with navigation options: '本体設定' (Main Settings), '通信設定' (Communication Settings), '管理者設定' (Administrator Settings), 'P-touch Template設定' (P-touch Template Settings), and '用紙サイズ設定' (Paper Size Setting), which is currently selected. The main area is titled '用紙サイズ設定' and displays a '用紙リスト' (Paper List) table. The table has columns for '用紙名' (Paper Name), '用紙種類' (Paper Type), '幅' (Width), '長さ' (Length), and 'エネルギーランク' (Energy Rank). The list contains four entries, all of type 'ダイカットラベル' (Die-cut Label). Below the list, the '現在の用紙設定' (Current Paper Setting) section shows a dropdown menu for '用紙名' (Paper Name) with '102mm x 152mm' selected. At the bottom, there are buttons for '適用' (Apply), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel), along with a 'リセット' (Reset) button.

用紙名	用紙種類	幅	長さ	エネルギーランク
102mm x 152mm	ダイカットラベル	102.0mm	152.0mm	9
102mm x 50mm	ダイカットラベル	102.0mm	50.0mm	9
76mm x 26mm	ダイカットラベル	76.0mm	26.0mm	9
60mm x 100mm	ダイカットラベル	60.0mm	100.0mm	9

現在の用紙設定

用紙名: 102mm x 152mm

リセット

適用 保存 キャンセル

設定したい用紙を「現在の用紙設定」⇒「用紙名」のリストから選択します。「適用」により用紙設定指示が本体に送信され、用紙が設定されます。

SBPL [3. コマンド対応一覧](#) 参照)の用紙設定コマンドを用いて用紙のサイズや種別を設定することも可能です。設定は基本的に後から行ったもので上書きされますので、例えば、ツールで用紙設定を事前に行った上でSBPLコマンドによりサイズ変更を行った場合、後から送信したSBPLの設定が反映された状態になります。

2.2.2 使用可能な用紙種類

プリンターは「長尺テープ」、「ダイカットラベル」、「マーク付きメディア」の用紙種類をサポートしています。

- 長尺テープ … レシートタイプの用紙です。
- ダイカットラベル … 透過センサーを用いてラベル間ギャップを検出し印刷位置を決定します。
- マーク付きメディア … マークつきの用紙です。反射センサーを用いて印刷位置を決定します。

それぞれの用紙種別により、設定が必要な項目が異なります。各々の値をお使いの用紙にあわせて正しく設定する必要があります。ダイカットラベルの場合の設定例を記載します。

(50mm幅 x 40mm高さのダイカットラベル設定例)

用紙サイズ設定

用紙名: カスタム

用紙種類: ダイカットラベル

現在の用紙設定

幅: [19.0 - 118.0] 50.0 mm

長さ: [6.4 - 1000.0] 40.0 mm

ラベル間の距離: 3.0 mm

マーク幅: 0.0 mm

用紙先端からマークまでの距離: 0.0 mm

左余白: 1.5 mm

右余白: 1.5 mm

上余白: 3.0 mm

下余白: 3.0 mm

追加

キャンセル

幅／長さ: には、ダイカットラベルのラベル部分の幅と長さを入力します。

ラベル間の距離: にはギャップの長さを入力します

上下左右の余白長を入力します。
印字領域幅は、(幅 - 左余白 - 右余白)、
印字領域高さは、(長さ - 上余白 - 下余白)です。

2.2.3 印刷濃度設定、およびセンサーレベルの補正について

用紙設定では、用紙ごとの印刷位置の微調整や濃度調整、透過／反射センサーの検出レベル・発光量の調整を行うことも可能です。

用紙サイズ設定

用紙名 カスタム ⓘ

用紙検知

用紙種類 ダイカッタラベル ▼

現在の用紙設定

印字調整

エネルギーランク

特殊な用紙など、印字ヘッドの熱量を変更する場合(印字濃度の調節など)に設定します。通常は使用しません。

エネルギーランク 0 ▲▼

印字基点補正

印字位置を決める原点の基点補正を設定します。アプリケーションが固定の余白設定していて印刷結果がずれるような場合や、各プリンターの機差により発生する印字誤差が調整できます。

0.0mm

ABC

DEF

0.0mm

幅

長さ

ティアバー位置補正

[-150.0 - 150.0]

0.0 ▲▼

mm

[-150.0 - 150.0]

0.0 ▲▼

mm

0.0 ▲▼

mm

用紙センサー(透過型/ギャップ)

検出レベル補正 0 ▲▼

追加

キャンセル

用紙センサーの調整は通常行う必要はありませんが、例えばご使用の用紙でラベル間(ギャップ)や黒マークの検出が正常にできない場合に調整を行うことができます。

なお、「本体設定」にも同様の設定項目がございますが、補正の適用される範囲が異なります。「本体設定」、「用紙設定」それぞれの設定値が加算されて扱われますのでご注意ください。

- 「本体設定」による補正 ... すべての用紙使用時に適用されます。
- 「用紙設定」による補正 ... 指定の用紙設定にのみ適用されます。

BRConfiguration Tool

← 本体設定

Brother TD-4555DNWB

USB
🟢 待機中

本体設定

通信設定

管理者設定

P-touch Template設定

用紙サイズ設定

基本設定 拡張設定 **印字位置 / センサー** 画面設定

印字位置 / センサー

印字基点補正:幅方向 0.0

印字基点補正:長さ方向 0.0

ティアバー位置補正 0.0

用紙センサー(透過型/ギャップ)

検出レベル補正 0

発光量の補正 0

用紙センサー(反射型/バー)

黒マーク検出レベル補正 0

発光量の補正 0

用紙センサー(ハクリ)

検出レベル補正 0

台紙余白

リセット

適用 保存 キャンセル

2.3 通信設定

2.3.1 Bluetooth接続

プリンターはBluetoothをサポートします(機種ごとの対応は「[付録B: 仕様](#)」をご参照ください)。ホスト端末側のBluetooth仕様によってペアリング時の動作は異なります。

・ホスト端末がBluetooth 2.1以上でSSP(Secure Simple Pairing)をサポートしている場合

SSPによるペアリングが行われます。通信設定で“ペアリング時に本体キーの操作を要求する”を有効にすることで、ペアリング時に本体側でもOKキーを要求することができます。デフォルトは有効です。

・ホスト端末がBluetooth 2.0以下の場合

PINコードによるペアリングが行われます。PINコードは BRConfiguration Tool (通信設定) で変更することが可能です。PINコードの工場出荷時のデフォルト値は、シリアルナンバーの下4ケタです。例えばシリアルナンバーが“A6Z012345”の場合、PINコードの出荷時デフォルトは“2345”となります。

BRConfiguration Tool

← 通信設定

Brother TD-4555DNWB

USB
● 待機中

本体設定

通信設定

管理者設定

P-touch Template設定

用紙サイズ設定

有線LAN 無線LAN Wireless Direct **Bluetooth** シリアル接続設定 プロトコル セキュリティ

現在の状態

Bluetoothアドレス c8-a3-e8-9d-34-e6

基本設定

パワーオン時のBluetooth 前回の状態維持

デバイス名 TD-4555DNWB_6789

Bluetooth制御モード クラシック & Low Energy

クラシック

他のデバイスからの検索 できる

PINコード ●●●●

ペアリング時に本体キーの操作を要求する 有効

自動再接続 無効

Low Energy

最小セキュリティ LE Secure Connections

ペアリング時に本体キーの操作を要求する 有効

リセット

適用 保存 キャンセル

・Bluetoothデバイス名の変更も通信設定で行うことができます。「通信設定」メニュー「Bluetooth」⇒「デバイス名」から設定を行ってください。

・Bluetoothの対応プロファイルについては「[付録B: 仕様](#)」をご参照ください。通常ホスト端末からプリンターに対してSBPLコマンドを送信して印刷したい場合はSPP(Serial Port Profile)をご使用ください。

・最大20個のペアリングキーを保存可能です。

2.3.2 無線LAN接続

一部プリンターは無線LANをサポートします。(機種ごとの対応は「[付録B: 仕様](#)」をご参照ください)

2.3.3 有線LAN接続

一部プリンターは指定のネットワークケーブルを使用することにより、有線LAN接続をサポートします。(機種ごとの対応は「[付録B: 仕様](#)」をご参照ください)。

2.3.4 LANの通信ポート

任意のコマンドをやりとりするためには、RawTCPポート(ポート番号のデフォルトは9100番)をご使用ください。Rawポートに送信されたデータは全てコマンドとして解釈されます。Rawポートの番号は BRConfiguration Tool (通信設定) から変更を行うことが可能です。

・Rawポート番号の変更方法

「通信設定」⇒「プロトコル」⇒「Rawポート番号」項目の値を変更し、適用ボタンを押します。 ※設定後再起動を行います。

The screenshot shows the 'BRConfiguration Tool' window with the '通信設定' (Communication Settings) tab active. On the left, a sidebar lists settings for 'Brother TD-4555DNWB', including '本体設定' (Device Settings), '通信設定' (Communication Settings), '管理者設定' (Administrator Settings), 'P-touch Template設定' (P-touch Template Settings), and '用紙サイズ設定' (Paper Size Settings). The '通信設定' tab is highlighted. The main area shows the 'プロトコル' (Protocol) tab selected, with a list of services and their status. The 'Raw port number' is highlighted with a red box and set to 9100. At the bottom, there are buttons for '適用' (Apply), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel).

有線LAN	無線LAN	Wireless Direct	Bluetooth	シリアル接続設定	プロトコル	セキュリティ
Web Services						
Web Services						有効
Web Services名						Brother TD-4555DNWB [b42200e05dc0]
その他						
Web Based Management (Web Server)						有効
LPD						有効
Raw port						有効
Rawポート番号						9100
IPP						有効
FTPサーバー						無効
FTP クライアント						有効
TFTP						無効
mDNS						有効
LLMNR						有効

リストの更新

適用 保存 キャンセル

・Rawポートの双方向通信設定について

プリンターのRawポートはデフォルトで片方向通信(ホスト端末⇒プリンターへのデータ送信)のみ有効となっています。プリンター側からのデータをホスト端末で受信したい場合は、事前にコマンド送信により設定を行う必要があります。

ESC i X v 2 (08h) WLAN Rawポート双方向通信指定

ASCII: ESC i X v 2 03h 00h 00h 08h [mode]
16進: 1B 69 58 76 32 03 00 00 08 [mode]

[mode] : 1byte

値	モード
00h	無効
07h	有効

WLAN Rawポートでの双方向通信(プリンターからの応答)を有効にする場合、コマンドは以下のようになります。

(16進) 1B 69 58 76 32 03 00 00 08 07

本コマンドは静的コマンドです。電源をオフしても保持されます。

2.4 ステータス応答設定

ステータス要求コマンド(ENQ)に対するプリンターの動作は、下記で記載する設定により変わります。お客様のご使用状況に合わせて事前に設定してください。

* 下記設定コマンドはラスターモードでのみ有効なコマンドです。コマンドサンプルに従いラスターモードへの切り替えを行ってください。

2.4.1 ステータス応答有効無効

プリンターからステータス要求コマンド(ENQ)に対する応答を受信するためには、ステータス応答を有効にする必要があります。ステータス要求に対する応答が受信されない場合はステータス応答が無効になっていないかを確認し、無効に設定されている場合は有効になるよう設定を変更してください。ステータス応答の有効無効設定は、プリンターとの接続方法ごとに設けられています。

・ステータス応答有効無効取得

ホスト端末から下記のコマンドを送信することにより、現在のステータス応答が有効か無効かを取得することができます。

ESC iOUq0 ステータス応答有効無効取得

```
ASCII: ESC i a 1 ESC i O U q 0 ESC i a z
16進: 1B 69 61 31 1B 69 4F 55 71 30 1B 69 61 7A
```

本体からは、3バイトのデータが返信されます。

[1]: 01h (固定) [2]: 00h (固定) [3]: 設定値 (各ビットが各接続方法についてステータス応答が有効か無効を示します) b0: Bluetooth有効/無効 b1: USB有効/無効 b2: RS-232C有効/無効 b3: LAN有効/無効

【例】0x08: LAN接続時のみステータス応答が有効

・ステータス応答有効無効設定

ホスト端末から下記のコマンドを送信することにより、ステータス応答を有効にするか無効にするかを設定することができます。

ESC iOUq1 ステータス応答有効無効設定

```
ASCII: ESC i a 1 ESC i O U q 1 n1 ESC i a z
16進: 1B 69 61 31 1B 69 4F 55 71 31 n1 1B 69 61 7A
```

[n1]: 1byte

設定値(各ビットが各接続方法についてステータス応答が有効か無効を示します) b0: Bluetooth有効/無効 b1: USB有効/無効 b2: RS-232C有効/無効 b3: LAN有効/無効

【例】0x03: USBおよびBluetooth接続時のみステータス応答を有効にする

2.4.2 ステータス応答形式

ステータス要求コマンド(ENQ)に対するプリンターからのステータス応答形式は、ステータス応答形式設定により変わります。

ステータス応答形式設定は、お客様の使用形態に合わせて事前に設定してください。

・ステータス応答形式取得

ホスト端末から下記のコマンドを送信することにより、現在のステータス応答形式を取得することができます。

ESC iOU s0 ステータス応答形式取得

```
ASCII: ESC i a 1 ESC i O U s 0 ESC i a z
16進:  1B 69 61 31 1B 69 4F 55 73 30 1B 69 61 7A
```

本体からは、3バイトのデータが返信されます。

[1]: 01h (固定) [2]: 00h (固定) [3]: 設定値 00h: ステータス3形式 01h: ステータス4形式

・ステータス応答形式設定

ホスト端末から下記のコマンドを送信することにより、ステータス応答形式を設定することができます。

ESC iOU s1 ステータス応答形式設定

```
ASCII: ESC i a 1 ESC i O U s 1 n1 ESC i a z
16進:  1B 69 61 31 1B 69 4F 55 73 31 n1 1B 69 61 7A
```

[n1]: 1byte

00h: ステータス3形式 01h: ステータス4形式

3. コマンド対応一覧

3.1 制御

コマンド	説明	制限事項等
ESC+A	データ送出開始	
ESC+Z	データ送出終了	
ESC+Q	枚数設定	・最大発行枚数は、9999です。
ESC+ID	ジョブID番号	・ジョブID番号は、2桁固定です。(00~99)
ESC+WK	ジョブ名指定	
ESC+z0	ページ終了指定	

3.2 位置指定・修飾

コマンド	説明	制限事項等
ESC+H	印字横位置	
ESC+V	印字縦位置	
ESC+P	文字間ピッチ	・設定したパラメーターは、次の指定まで有効です。
ESC+L	拡大	・横方向拡大倍率/縦方向拡大倍率の最大値は、15です。
ESC+PS	プロポーションナルピッチ	・プリンターの初期設定は、「固定ピッチ」です。
ESC+PR	プロポーションナルピッチ 解除	
ESC+%	回転	
ESC+F	連番	・連番有効桁数/下位無効桁数の最大値は、30です。
ESC+FW	罫線、枠線印字	
ESC+FC	円印字	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+FT	三角形印字	
ESC+(	白黒反転印字	
ESC+KC	漢字コード設定	・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズの漢字コード指定のUnicodeは、無効です。
ESC+&	フォームオーバーレイ登録	
ESC+/	フォームオーバーレイ呼出し	
ESC+0	部分編集	
ESC+WD	ラベル内コピー（部分コピー）	
ESC+J	ジャーナル印字	
ESC+RM	ミラー回転	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。

3.3 文字・フォント

コマンド	説明	制限事項等
ESC+X20	X20フォント	
ESC+X21	X21フォント	
ESC+X22	X22フォント	
ESC+X23	X23フォント	・スミージング指定は、無効です。
ESC+X24	X24フォント	
ESC+OA	OCR-Aフォント	
ESC+OB	OCR-Bフォント	
ESC+\$	アウトラインフォント形状	・フォント幅の指定/フォント高さの指定の最大値は、400です ・フォント種の指定は、A、Bのいずれかを指定してください。 A: ヘルベチカボールド(プロポーションル) B: ヘルベチカボールド(文字間ピッチ固定)
ESC+\$=	アウトラインフォント印字	
ESC+RD	CGフォント	・本コマンドの書式は、<RD>abb, ccc, ddd, n~nです。 ・横サイズ/縦サイズのドット指定の最大値は、400です。 ・フォント種の指定は、A、Bのいずれかを指定してください。 A: セリフ体 B: サンセリフ体
ESC+RH	スケーラブルフォント	・横サイズ/縦サイズのドット指定の最大値は、400です。 ・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+K1	16×16ドット横書き漢字	・スミージング指定は、無効です。 ・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、Unicode指定不可です。
ESC+K2	24×24ドット横書き漢字	
ESC+K3	22×22ドット横書き漢字	
ESC+K4	32×32ドット横書き漢字	・スミージング指定は、無効です。 ・TD-4XXX, TD-23XXシリーズのみ対応しています。
ESC+K5	40×40ドット横書き漢字	
ESC+K8	16×16ドット横書き半角・全角混在漢字	・スミージング指定は、無効です。 ・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、Unicode指定不可です。
ESC+K9	24×24ドット横書き半角・全角混在漢字	
ESC+KA	22×22ドット横書き半角・全角混在漢字	
ESC+KB	32×32ドット横書き半角・全角混在漢字	・スミージング指定は、無効です。 ・TD-4XXX, TD-23XXシリーズのみ対応しています。
ESC+KD	40×40ドット横書き半角・全角混在漢字	
ESC+k1	16×16ドット縦書き漢字	・スミージング指定は、無効です。 ・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、Unicode指定不可です。
ESC+k2	24×24ドット縦書き漢字	
ESC+k3	22×22ドット縦書き漢字	
ESC+k4	32×32ドット縦書き漢字	・スミージング指定は、無効です。 ・TD-4XXX, TD-23XXシリーズのみ対応しています。
ESC+k5	40×40ドット縦書き漢字	

ESC+k8	16×16ドット縦書き半角・全角混在漢字	・スモーキング指定は、無効です。 ・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、Unicode指定不可です。
ESC+k9	24×24ドット縦書き半角・全角混在漢字	
ESC+kA	22×22ドット縦書き半角・全角混在漢字	
ESC+kB	32×32ドット縦書き半角・全角混在漢字	・スモーキング指定は、無効です。 ・TD-4XXX, TD-23XXシリーズのみ対応しています。
ESC+kD	40×40ドット縦書き半角・全角混在漢字	
ESC+T1	16×16ドット外字登録	
ESC+T2	24×24ドット外字登録	
ESC+K1 (K2 K3 K8 K9 KA)	横書き外字呼出し	
ESC+k1 (k2 k3 k8 k9 kA)	縦書き外字呼出し	
ESC+PP	POPフォント	
ESC+Xa1 (Xa2)～(Xa6)	マークダウンフォント	
ESC+Xb1 (Xb2)～(Xb8)	マークダウンフォント	
ESC+Xc1 (Xc2)～(Xc9)	マークダウンロゴマーク	・マークダウンロゴマークに含まれるリサイクルマーク(プラ、紙)は、 法律で定められた範囲内で、マークがかすれたり、つぶれたりしない程度の文 字サイズで使用してください。 小さいサイズで印刷するとマークがかすれたり、つぶれたりする可能性があります。
ESC+Xd1 (Xd2)～(Xd9)	マークダウンロゴマーク	
ESC+Xe1 (Xe2)～(Xe9)	マークダウンロゴマーク	
ESC+Xf1 (Xf2)～(Xf5)	マークダウンロゴマーク	

3.4 バーコード

コマンド	説明	制限事項等
ESC+B	バーコード(比率1:3)	・ナローバー幅の最大値は、12です。 ・バーコード天地の最大値は、600です。 ・ESC+Bのバーコード種のMSLは、無効です。
ESC+D	バーコード(比率1:2)	
ESC+D~ESC+d	バーコード(解説文字選択)	
ESC+BD	バーコード(比率2:5)	
ESC+BT	バーコード登録指定	
ESC+BW	比率登録によるバーコード印字	・ナローバー幅の最大値は、12です。 ・バーコード天地の最大値は、600です。 ・ESC+BCのデータの最大入力桁数は、64です。
ESC+BI	UCC/EAN128(標準カートンID専用)	
ESC+BC	CODE93バーコード	
ESC+BG	CODE128バーコード	
ESC+BZ	カスタムバーコード	
ESC+BF	UPCアドオンバーコード	・ナローバー幅の最大値は、12です。 ・バーコード天地の最大値は、600です。
ESC+EU	EAN.UCC合成シンボル	・TD-20XX, TD-21XXシリーズが指定可能な合成シンボル種の範囲は、01~06のみです。 01:GS1 DataBar Composite (CC-A/CC-B) 02:GS1 DataBar Truncated Composite (CC-A/CC-B) 03:GS1 DataBar Stacked Composite (CC-A/CC-B) 04:GS1 DataBar Stacked Omni-Directional (CC-A/CC-B) 05:GS1 DataBar Limited Composite (CC-A/CC-B) 06:GS1 DataBar Expanded Composite (CC-A/CC-B) /GS1 DataBar Expanded Stacked (CC-A/CC-B) 07:UPC-A Composite (CC-A/CC-B) 08:UPC-E Composite (CC-A/CC-B) 09:EAN13 Composite (CC-A/CC-B) 10:EAN8 Composite (CC-A/CC-B) 11:GS1-128 Composite (CC-A/CC-B) 12:GS1-128 Composite (CC-C)
ESC+BL	UPC-Aバーコード(解説文字なし)	・ナローバー幅の最大値は、12です。 ・バーコード天地の最大値は、600です。
ESC+BL~ESC+d	UPC-Aバーコード(解説文字を指定)	
ESC+BM	UPC-Aバーコード(解説文字あり)	
ESC+BP	POSTNET	・印字データに5桁、9桁、11桁以外を指定した場合は、無効です。 ・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+BS	USPS Barcode	

3.5 2次元コード

コマンド	説明	制限事項等
ESC+2D10	PDF417	・最小モジュール幅寸法の最大値は、9です。 ・最小モジュール縦寸法の最大値は、24です。
ESC+2D12	マイクロPDF417	
ESC+2D20	MaxiCode	・モードの読み取り機専用は、無効です。
ESC+2D30	QRコード(モデル2)	・セルー辺のサイズ指定の最大値は、32です。 ・ESC+2D30とESC+2031の連結モード分割数の最小値は、2です。
ESC+2D31	QRコード(モデル1)	
ESC+2D32	マイクロQRコード	
ESC+2D50	DataMatrix	・横セルサイズ/縦セルサイズの最大値は、16です。
ESC+2D51	GS1 データマトリックス	
ESC+2D70	Aztec Barcode	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+QV	QRコード・バージョン	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。

3.6 グラフィック

コマンド	説明	制限事項等
ESC+G	グラフィック印字	
ESC+GM	BMPファイル印字	
ESC+GP	PCXファイル印字	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。

3.7 システム

コマンド	説明	制限事項等
ESC+CS	印字速度	・複数の印字速度コマンドを送信した場合、最後に設定した印字速度で印字されます。
ESC+#E	印字濃度	
ESC+#F	印字濃度	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+~	マルチカット指定	・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、非対応です。
ESC+CT	カット単位枚数指定	・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、非対応です。
ESC+NC	排出カット動作指定	・RJ-2XXX/RJ-4XXXシリーズは、非対応です。
ESC+A1	用紙サイズ	・可変指定は、無効です。
ESC+A3	基点補正	・縦方向補正(ドット数)/横方向補正(ドット数)の範囲は、0～300です。
ESC+EP	印字最終位置	・印字停止位置は、無効です。
ESC+*	クリア指定	・オールクリアは非対応です。 ・受信/編集バッファクリアは非対応です。
ESC+C	再発行	
ESC+PG	プリンター動作登録	
ESC+E	自動改行設定	
ESC+PO	オフセット設定	・オフセット指定のノンセパ動作は、無効です。 ・ハクリ動作と連続動作(用紙ピッチ)のオフセットの最小値は、-40です。
ESC+IG	センサー種別設定	・センサー禁止は、無効です。
ESC+PM	動作モード設定	・動作モードは下記のいずれかを、指定してください。 0:連続動作 1:ティアオフ動作 2:カッター動作(ヘッド位置) 3:カッター動作(カッター位置) 4:カッター動作(バックフィードなし) 7:剥離動作(ヘッド位置) 8:剥離動作(剥離位置) B:カッター動作(印字中カット)
ESC+CE	欧州コードページ	・指定できるコードは、Win1250, Win1252, Unicode(UTF-8)の3種です。 ・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+CO	制御コード	
ESC+LD	ユーザーダウンロード	
ESC+CR	CRCチェック	
ESC+BU	ブザー鳴動	
ESC+QS	システム優先設定	
ESC+&S	フォームオーバーレイ登録	・登録番号は、1を指定してください。
ESC+&R	フォームオーバーレイ呼出し	

ESC+YS	フォーマット登録	・フォーマット登録Noの有効範囲は、1~64です。
ESC+/N	フィールド登録	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+YR	フォーマット呼出し	・フォーマット登録Noの有効範囲は、1~64です。
ESC+/D	フィールド印字	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+GI	グラフィック登録	・登録番号の有効範囲は、1~24です。
ESC+GR	グラフィック呼出し	
ESC+GT	BMPファイル登録	
ESC+GC	BMPファイル呼出し	・登録番号の有効範囲は、1~24です。
ESC+PI	PCXファイル登録	・PCXファイルの総バイト数の最大値は、65535です。 ・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+PY	PCXファイル呼出し	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ESC+*	クリア指定(メモ리카ード)	・TrueTypeフォントクリアは非対応です。 ・登録番号の最大値は24です。
ESC+IK	用紙搬送制御	・RJ-2XXXシリーズは、非対応です。
ENQ	ステータス要求	・指定できる返送ステータス・フォーマットは、ステータス3/ステータス4です。 ・返送ステータス・フォーマットの初期値は、ステータス3です。
CAN	キャンセル要求	
(ESC+A~ESC+Z)	印字コマンド	
SOH+MG	プリンター動作設定要求	

付録A: 対応機種一覧表

本書に対応しているプリンターのシリーズ、機種名は下記のとおりです。

Series	Model
TD-4XX5	TD-4215D
	TD-4415D
	TD-4425DN
	TD-4425DNF
	TD-4525DN
	TD-4455DNWB
	TD-4555DNWB
	TD-4555DNWBF
TD-23XX	TD-2310D
	TD-2320D
	TD-2320DF
	TD-2320DSA
	TD-2350D
	TD-2350DF
	TD-2350DSA
	TD-2350DFSA
RJ-42X5	RJ-4235B
	RJ-4255WB
RJ-32X5	RJ-3235B
	RJ-3255WB

付録B: 仕様

TD-4XX5 の仕様は下記のとおりです。

機種		TD-4215D	TD-4415D	TD-4425DN	TD-4425DNF	TD-4455DNWB	TD-4525DN	TD-4555DNWB	TD-4555DNWBF
印字	印刷モード	ラスター ESC/P <u>P-touch Template / ZPL II emulation</u> SBPL emulation							
	最大印字長	3 m							
	解像度 (dpi)	203 dpi × 203 dpi					300 dpi × 300 dpi		
インターフェース	接続方式	USB RS-232C	USB RS-232C Ethernet			USB RS-232C Ethernet Bluetooth WLAN USB-HOST	USB RS-232C Ethernet	USB RS-232C Ethernet Bluetooth WLAN USB-HOST	
	Bluetooth プロファイル	-				SPP, OPP, HCRP	-	SPP, OPP, HCRP	
その他	カッター対応	○ ※モデルによりオプション対応となります。							

太字でアンダーラインの項目は、初期値です。

TD-23XX の仕様は下記のとおりです。

機種		TD-2320D	TD-2320DF	TD-2320DSA	TD-2350D	TD-2350DF	TD-2350DSA	TD-2350DFSA
印字	印刷モード	ラスター ESC/P <u>P-touch Template / ZPL II emulation</u> SBPL emulation						
	最大印字長	3 m						
	解像度 (dpi)	203 dpi × 203 dpi または 300 dpi × 300 dpi						
インターフェース	接続方式	USB RS-232C Ethernet USB-HOST			USB RS-232C Ethernet Bluetooth WLAN USB-HOST			
	Bluetooth プロファイル	-			SPP, OPP, HCRP			
その他	カッター対応	○ ※モデルによりオプション対応となります。						

太字でアンダーラインの項目は、初期値です。

RJ-42X5 の仕様は下記のとおりです。

機種		RJ-4235B	RJ-4255WB
印字	印刷モード	ラスター ESC/P <u>P-touch Template / ZPL II emulation</u> SBPL emulation	
	最大印字長	3 m	
	解像度 (dpi)	203 dpi × 203 dpi	
インターフェース	接続方式	USB Bluetooth	USB Bluetooth WLAN
	Bluetooth プロファイル	SPP, OPP, HCRP	
その他	カッター対応	-	

太字でアンダーラインの項目は、初期値です。

RJ-32X5 の仕様は下記のとおりです。

機種		RJ-3235B	RJ-3255WB
印字	印刷モード	ラスター ESC/P <u>P-touch Template / ZPL II emulation</u> SBPL emulation	
	最大印字長	3 m	
	解像度 (dpi)	203 dpi × 203 dpi	
インターフェース	接続方式	USB Bluetooth	USB Bluetooth WLAN
	Bluetooth プロファイル	SPP, OPP, HCRP	
その他	カッター対応	-	

太字でアンダーラインの項目は、初期値です。

付録C: ENQ(ステータス要求)

本章では、ENQ(ステータス要求)に対する本体の動作仕様について説明します。

・ステータス応答形式

ステータス要求に対して本体から返信されるデータの形式は、ステータス応答形式および接続方法により異なります。それぞれのデータ形式は下記の通りです。

ステータス3形式

STX	ジョブID	ステータス	印刷残枚数	ETX
02h	2byte	1byte	6byte	03h

ステータス4形式 (Bluetooth/USB/RS-232C)

STX	ジョブID	ステータス	印刷残枚数	ジョブ名	ETX
02h	2byte	1byte	6byte	16byte	03h

ステータス4形式 (LAN)

送信データサイズ	ENQ	STX	ジョブID	ステータス	印刷残枚数	ジョブ名	ETX
4byte	05h	02h	2byte	1byte	6byte	16byte	03h

・ステータス値

ステータス値が示す各ステータスは下記の通りです。

ステータス	値(hex)
受信待ち	0x41('A')
印刷中	0x47('G')
待機中	0x4D('M')
解析・編集中	0x53('S')
カバーオープン	0x62('b')/0x68('h')
ペーパーエンド	0x63('c')
センサエラー/用紙詰まりエラー	0x66('f')
カットエラー	0x6A('j')
バッテリーエラー	0x71('q')
その他のエラー	0x6B('k')

brother